

# 小論文検定 2018 年第 1 回検定（前期・後期）の課題

## スタンダードコース

4 級 / 5 級 / 6 級

制限字数＝800字 時間＝60分  
文章は常体で書くこと。

### ■課題■ 「18歳成人でのローン契約」について

2018年3月、成人年齢を20歳から18歳に引き下げる民法改正案が国会に提出された。成人年齢の引き下げは選挙権が20歳から18歳になったことに伴い検討されてきた。成人年齢が下がることで、これまで20歳になるまでできなかったことが、いくつか認められるようになるが、その一つがローン契約が可能になることだ。

ローン契約には住宅や自動車、教育など目的を限定して借り入れるもののほか、クレジットカードローンのような目的を限定しないで一定の限度額の範囲内なら何回でも借り入れられるものなど、さまざまな種類がある。

欧米の主要国では「18歳以上」を成人としており、選挙権年齢と成人年齢も多くで一致している。成人年齢を引き下げることは若者の自立を促すねらいがあるが、ローン契約が可能となる点については、消費者保護の観点から慎重であるべきとの意見もある。

あなたは18歳でローン契約ができるようになることについて賛成か反対か。どちらかの立場を選び、ローン契約の仕組みについて調べたうえで、あなたの考えを交えながら800字以内で述べよ。

## マスターコース

1 級 / 2 級 / 3 級

制限字数＝1200字 時間＝90分  
文章は常体で書くこと。

### ■課題■ 「パワーハラスメント防止」について

2018年3月、レスリングのオリンピック金メダリストが、指導者からパワーハラスメント（パワハラ）を繰り返し受けていたとする告発状が内閣府に出されていたことが明らかとなった。調査を行なった日本レスリング協会は、パワハラがあったことを認定。同指導者は協会の強化本部長の立場を辞任したが、この問題を放置してきたレスリング協会に対する組織としての責任を問う声もあがっている。

パワハラとは厚生労働省によると「同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて精神的・身体的苦痛を与える、または職場環境を悪化させる行為」と定義されているが、今回の件に限らず様々な現場で頻繁に起きている問題だ。各都道府県に設置されている労働問題の相談を受ける「総合労働相談コーナー」に寄せられた「いじめ・嫌がらせ」の相談件数は、16年度には7万件を超えた。パワハラを受けた人間が精神障害を発症し、労災補償を受ける件数も年々増えている。

パワハラは個人対個人で行われる場合が多いが、その背景にはそれを生み出す環境もあると指摘されている。あなたはパワハラについてどのように考えるか、また、職場や組織でのパワハラを防止するためにはどうすればよいか、具体的な防止策を1200字以内で述べよ。